



**作家。脚本家。**温泉郡北条町(現、松山市)出身。本名は富田<sup>とみた</sup>祥<sup>よしずけ</sup>資。愛媛県立松山中学校(現、県立松山東高等学校)在学中に海軍兵学校に入学し、終戦を迎える。復学後は、松山高等学校(現、愛媛大学)理科を卒業し、東京大学医学部に合格するが医者になる事を嫌い入学せず、日本大学芸術学部演劇学科に進学した。

卒業後、新聞社編集長を経て、いけばな評論家として活動し「いけばな協会」の設立に尽力。その後、放送作家に転じ、日本テレビで制作されたドキュメンタリー「ノンフィクション劇場」の多数の作品に関わり、脚本家の道に入る。重厚な社会派と呼ばれる一方、軽妙な時代劇やエンターテインメントも多々手掛けるなど、その作品は幅広く、生涯1000本ともいわれるテレビドラマや映画、舞台の脚本、小説、エッセイを生み出し、舞台

演出やドキュメンタリー制作も手掛けた。また、生家が四国八十八カ所の遍路みちに面した大きな商家であったため幼少より遍路に接してきたこと、遍路が置いていき、両親が引き取って「妹」として育った少女が海軍兵学校在学中の早坂に面会に行く途中に広島で原爆に遭い、死亡したと思われること、原爆投下直後の広島の惨状を目撃したことなどから、四国八十八カ所や遍路、原爆に関する作品や論評、活動も多い。代表作にドラマ「天下御免」、「夢千代日記」、「花へんろ」、松山高等学校が舞台の自伝的小説『ダウタウン・ヒーローズ』、『華日記』など。

## 略歴

昭和4(1929)年8月11日	温泉郡北条町に生まれる。
昭和25(1950)年	松山高等学校卒業
昭和30(1955)年	日本大学芸術学部演劇科卒業
昭和53(1978)年	「わが兄はホトトギス」で第33回芸術祭優秀賞、日本民間放送連盟賞優秀賞受賞
昭和54(1979)年	「修羅の旅して」で第20回モンテカルロ国際テレビ祭最優秀脚本賞・国際批評家特別賞受賞、NHK会長賞受賞 「続・事件 海辺の家族」などで芸術選奨文部大臣賞受賞
昭和57(1982)年	「続・夢千代日記」でNHK放送総局長賞、放送文化賞、プラハ国際テレビ祭大賞、テレビ大賞優秀番組賞など受賞
昭和59(1984)年	「新・夢千代日記」で芸術選奨文部大臣賞受賞、放送文化基金賞、NHK会長賞受賞
昭和61(1986)年	「花へんろ・風の昭和日記」で第4回向田邦子賞、芸術選奨文部大臣賞、放送批評家懇談会大賞、放送文化基金賞個人賞受賞
平成2(1990)年	『華日記・昭和生け花戦国史』で第9回新田次郎文学賞 『公園通りの猫たち』で第6回講談社エッセイ賞受賞
平成6(1994)年	紫綬褒章受章
平成11(1999)年	愛媛県教育文化賞受賞
平成12(2000)年	勲四等旭日小綬章受章
平成18(2006)年	愛媛県功労賞受賞
平成29(2017)年12月16日	88歳で永眠
平成30(2018)年	松山市荣誉賞受賞

(写真提供：富田由起子氏)

〈関連図書〉

- ・『愛媛県人名大事典』 愛媛新聞社 1987年
- ・早坂暁『早坂暁コレクション』 勉誠出版 2006年
- ・早坂暁『この世の景色』 みずき書林 2019年

〈主な収蔵資料〉…(P232~233, 169~171)

〈ゆかりのある場所〉…(P318, 219)